

第4回市民の声を聴く会 概要

(平成28年5月17日(火) 18時30分～ 花園コミュニティセンター)

1 開会

○山崎議員(司会)

皆さん、こんばんは。

まだ、お集まりが少ないですが、時間となりましたので、ただいまから、第4回市民の声を聴く会を開催いたしたいと思います。

本日は、時節柄、大変に御多忙のところではございますが、このようにお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。

私は、本日、司会をさせていただきます、議会運営委員会委員長の山崎と申します。よろしく申し上げます。

市民の声を聴く会は、市議会といたしまして、平成25年3月に取りまとめさせていただきました議会改革推進プランに先立ち、議会改革等に対する市民の皆さんの御意見をお聞かせいただくことを目的に、平成24年8月に第1回市民の声を聴く会を開催させていただいて以来、本日で第4回目となりました。

今回の市民の声を聴く会は、今までは1カ所で開催していたものを、より多くの皆さんに御参加いただき、声をお聴きしたいという目的で、千歳コミュニティセンターと花園コミュニティセンターの2会場に分けて、議員を2班に分けまして、開催することといたしました。

開会前に、ここで皆さんにお願いですけれども、携帯電話等をお持ちの方は、音が鳴らないように、電源を切るなり、マナーモードなり、処置のほうをよろしく願いいたします。

それでは、この後は、着席をして説明させていただきます。

2 出席議員の紹介

○山崎議員(司会)

まず初めに、本日の出席議員を紹介させていただきます。

初めに、今井俊雄副議長です。

次に、北山敬太議員、山口康弘議員、五十嵐桂一議員、田口博議員、岡部いづみ議員、私、山崎、佐々木雅宏議員、高秀政博議員、古川昌俊議員、佐藤仁議員、以上の議員で、本日は進めさせていただきたいと思います。

3 開会あいさつ

○山崎議員（司会）

それでは、開会に先立ちまして、今井副議長より、御挨拶をお願いいたします。

○今井副議長

市議会の今井でございます。

本日は、お忙しい中、また、平日の夜にもかかわらず、多くの市民の皆様方に御参集いただき、厚く御礼を申し上げさせていただきます。

ただいま、司会の山崎議員から話がありましたとおり、本日の市民の声を聴く会は、議会改革推進プランの進捗状況について御説明させていただきます。

議会改革推進プランの策定に当たっては、平成23年9月から取り組みを始めましたが、当時は、国から地方への権限委譲が進みまして、地方議会の役割も一層重要となる中、「議会は何をやっているのか」、「議員の仕事は何なのか」というような市民の皆様の声も聞こえてまいりました。

それまでも、各自が全身全霊で努めておりましたが、議会及び議員の役割と責任を再認識し、行政のチェック機能を果たすとともに、地域住民の意思を行政にしっかり反映させることが「市民に、より信頼される議会」であると考えまして、そのバイブルとして、平成25年3月に、議会改革推進プランを策定いたしました。そして、その実現に向けて取り組みを進めていくことといたしました。その取り組み項目の一つとして、市民の声を聴く会の開催を掲げており、これまでに3回開催しております。

1回目は、議会改革推進プランの策定に当たりまして、皆様の御意見をお聴きさせていただきました。2回目は、平成25年の市議会議員選挙が無投票でありましたことを受け、無投票の分析結果などを報告しております。3回目は、議員定数に関する結論と政務活動費の今後の方向性について御説明を申し上げます。

そして、本日、第4回目の開催では、より多くの市民の皆様の声をお聴かせいただくために、初めて2会場で開催することといたしました。

内容も、議会改革推進プランの進捗状況について御報告するとともに、今、市民の皆様がお考えになっていることをお聴きする時間を設けさせていただいております。

議員個々においては、さまざまな活動しておりますが、議会全体としても、市民の皆様と話し合う機会を設けることが、議会への信頼と理解を深め、さらには議会の活性化と機能の強化につながると考えておりますので、どうか皆様の御支援、御指導をよろしくお願い申し上げます。

以上を申し上げ、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくをお願いいたします。

本日の日程

○山崎議員（司会）

それでは、本日お配りしております資料の確認をさせていただきます。

「市民の声を聴く会」次第、「市民の声を聴く会」資料、以上、皆さんのお手元にお配りされているかと思しますので、参考にしていただければと思います。

次に、お手元の次第を御覧いただきたいと思いますが、この流れを簡単に御説明申し上げます。

この後、次第の4番目になりますが、本日のテーマとなっております議会改革推進プランの進捗状況について、前段部分で、平成25年から、これまでに実施してきた議会改革の取り組みを御説明し、後段部分で、昨年5月に開催しました第3回市民の声を聴く会以降に、引き続き、継続して取り組むこととした7つの取り組み項目について、進捗状況を説明させていただきます。特に、昨年5月の市民の声を聴く会において、見直しを行う方向で御説明いたしました政務活動費について、各党派の間で協議がまとまりましたので、御説明させていただきます。

これらの説明の後、10分程度の休憩をとりまして、再開後、皆様の声を聴く時間を設けさせていただきました。この時間では、議会改革推進プランの進捗状況に関する御質問につきましては、誠心誠意、御回答させていただきます。また、千歳市の課題や疑問など、市政に関することにつきましては、この場でお答えできる範囲で、担当する常任委員会の委員が中心となって御説明させていただきます。なお、説明することが難しい御意見につきましては、個々の議員において、今後の議員活動の参考意見として承りたいと考えております。ただし、個人をひぼう、中傷するような意見につきましては、発言を中止していただく場合もありますので、あらかじめ御了承願います。

最後に、閉会の御挨拶を申し上げ、本日の会を終了させていただきます。

予定時間は、この後の説明で20分弱、休憩を10分ほどとりまして、皆様の声を聴く時間を1時間程度設けまして、終了時間は午後8時を予定しております。

4 議会改革推進プランの進捗状況

○山崎議員（司会）

それでは、早速、議会改革推進プランの進捗状況につきまして、議会運営委員会委員の山口議員から、御説明を申し上げます。

○山口議員

皆様、改めまして、こんばんは。

ただいま、御紹介にあずかりました議会運営委員会の中村でございます。

私のほうから、本日、議会改革推進プランの進捗状況について、皆様に御説明を申し上げます。皆様方におかれましては、前方のスクリーン、または、お手元の配付資料を見ていただきながら、聴いていただければと思います。よろしく願いいたします。

千歳市議会では、これまで、そのときどきの時代の変化に応じた「千歳市議会のあり方」を考え、さまざまな議会改革に取り組んでまいりました。

しかしながら、国から地方自治体に権限の移譲が進み、地方議会の役割が一層重要となってきたことから、平成23年9月から約1年半の期間をかけて、これまでの議会改革の経緯を踏まえながら、現状の課題を整理し、平成25年3月に議会改革推進プランを策定し、「市民に、より信頼される議会」を目標として取り組みを進めております。

この目標の実現に向けて、「市民の期待に応えられる議会」、「議員力の向上」、「議会機能の強化」の3つの目指す方向性を定め、その方向性の下に、具体的な取り組みを掲げ、各項目の目標達成期間を設定し、1年以内の達成を短期、2年以内の達成を中期、2年を超えるものを長期と定め、3つの期間に分類し、千歳市議会を挙げて議会改革を推進しています。

本日は、これまでに取り組んできた議会改革の進捗状況について御説明いたします。なお、議会改革推進プランの策定後に、取り組み項目の追加等を行なっております。

まず、1年以内に達成する短期に分類した項目は5項目です。

1点目は、市民アンケートの実施です。

これまで、平成24年と平成26年に、議会改革と議員定数及び議員報酬について、広く市民の皆様の声を聴く必要があると判断し、市議会だよりを活用して全世帯を対象に市民アンケートを実施しております。今後も、必要に応じて実施していく予定です。

2点目は、市議会だよりの充実です。

平成26年に、表表紙と裏表紙のカラー印刷を行い、紙面の文字の大きさや紙面割に工夫を加えております。

今後も、より見やすく、親しみやすい紙面づくりに取り組んでまいりたいと思います。

【シート6】

4 議会改革推進プランの進捗状況

議会改革推進プラン（平成25年3月策定）

○ 議会改革の目標

千歳市議会は、「市民に、より信頼される議会」を目標に議会改革を進めます。

【シート7】

4 議会改革推進プランの進捗状況

「市民に、より信頼される議会」を目指す3つの方向性

I 市民の期待に応えられる議会（住民意思の反映・説明と責任）
II 議員力の向上（政策提案や議論・審議、監視等の充実）
III 議会機能の強化（提案・審議、監視、調査等機能の充実）

(1) 短期（1年以内に目標を達成）
(2) 中期（2年以内に目標を達成）
(3) 長期（2年を超える期間で目標を達成）

【シート8】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(1) 短期（1年以内に目標を達成）

① 市民アンケートの実施

進捗状況	・平成24年 「議会改革」をテーマに実施 ・平成26年 「議員定数及び議員報酬」をテーマに実施
今後の取り組み	今後も、必要に応じて実施します。

【シート9】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(1) 短期（1年以内に目標を達成）

② 市議会だよりの充実

進捗状況	・平成26年 表と裏の表紙をカラー化 ・逐次、文字の大きさ、紙面の割り付けを工夫
今後の取り組み	より見やすく、親しみやすい紙面づくりに取り組みます。

3点目は、質問通告の迅速化です。

年に4回開催される定例会において、各議員が行なう質問の項目を市議会ホームページに掲載して、皆様にお知らせをしておりますが、平成24年から、お知らせする時期を早める取り組みを実施しております。

今後も、通告の迅速化に取り組むとともに、市民の皆様にはわかりやすい方法の研究を実施していく予定です。

4点目は、議会日程などの周知方法の見直しです。

これまでに、市議会だよりや市議会ホームページへの掲載、公共施設等にポスター掲示のほか、各議員においても民間施設等にポスター掲示を実施しております。

今後も、市民の皆様には、議会に足を運んでいただくよう、継続して取り組んでいきます。

5点目は、各議員の出欠状況及び議案に対する賛否の公表です。

年4回の定例会や各委員会における各議員の出欠状況は、平成25年から、市議会ホームページに掲載しているほか、第4回定例会終了後の2月に発行する市議会だよりに、1年分の出欠状況の集計結果を掲載しております。また、平成25年から、各議員の議案に対する賛否も、市議会ホームページに掲載しております。

今後も、市民の皆様には、各議員の議会活動をお知らせするため、継続して公表してまいります。

次に、2年以内に達成する中期に分類した項目は3項目です。

1点目は、議員定数の検討です。

平成25年実施の市議会議員選挙が無投票だったことを受けて、千歳市議会として議員定数のあり方を検討してきましたが、平成27年3月に、議会運営委員会において、定数維持の意見が半数以上を占めたことから、議会運営委員会としては定数維持の方向性を導いたものの、千歳市議会では、全会派一致を基本としているため、定数維持と定数削減の両論併記の結論を出しております。

今後も、議員定数については、必要に応じて検討してまいります。

【シート10】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(1) 短期（1年以内に目標を達成）

③ 質問通告の迅速化

進捗状況	・質問者の質問項目をホームページに掲載 ・市民の皆様には、質問者の質問項目をお知らせする時期の前倒し
今後の取り組み	今後も、市民の皆様には、より早く、より分かりやすいお知らせの方法を検討していきます。

【シート11】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(1) 短期（1年以内に目標を達成）

④ 議会日程などの周知方法の見直し

進捗状況	・「市議会だより」や「市議会ホームページ」への掲載 ・各議員も参加して、公共施設や民間施設等にポスターを掲示
今後の取り組み	今後も、市民の皆様には、より早く、より分かりやすいお知らせの方法を検討していきます。

【シート12】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(1) 短期（1年以内に目標を達成）

⑤ 各議員の出欠状況及び議案に対する賛否の公表

進捗状況	・平成25年から、本会議や各常任委員会の出欠状況を市議会ホームページに掲載しているほか、毎年2月に発行する市議会だよりに、1年分の出欠状況を掲載 ・各議員の議案に対する賛否を市議会ホームページに掲載
今後の取り組み	今後も、市民の皆様には、各議員の議会活動をお知らせいたします。

【シート13】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(2) 中期（2年以内に目標を達成）

① 議員定数の検討

進捗状況	・平成27年3月に、議会運営委員会において、定数維持の意見が半数以上を占めたことから、定数維持の方向性を導いたものの、千歳市議会は全会派一致を基本としており、定数維持と定数削減の両論併記の結論を出しています。
今後の取り組み	今後も、議員定数については、必要に応じて検討してまいります。

2点目は、報酬の検討です。

議員報酬については、市民の皆様の中でもさまざまな意見がございますが、議員報酬は議会だけで議論するものではなく、市長が、千歳市特別職報酬等審議会に諮問し、意見を聞くことと規定されているため、議員自らが検討することは、見送ることといたしました。

3点目は、陳情の取り扱いについてです。

平成25年5月の改選後から、これまでに、千歳市議会が受理した陳情は3件であり、陳情内容は、JR長都駅前への交番設置や大和地区へのコミュニティ施設の整備などでした。過去の陳情や今回の3件の中には、陳情受理後、1年を越えた長期にわたり、審査する事例もありました。

そこで、各常任委員会に付託後、原則1年以内に結論を出すこととし、1年を超える場合については、本会議で付託委員会における審査経過を中間報告することと改めます。

今後も、陳情者に配慮した審査を心がけていきます。

次に、2年を越える期間で達成する長期に分類した項目は2項目です。

1点目は、議会モニター制度の検討です。

議会モニター制度は、制度の必要性や経費、どのような人材を選任するのかなどの課題が多くあります。

千歳市議会の現状においては、モニター制度の位置づけがなくても、市民の皆様が、本会議や常任委員会を継続して傍聴しておりますので、検討は見送ることに決定いたしました。

2点目は、議会基本条例の検討です。

これまで、千歳市議会は、積極的に議会改革に取り組んでおり、まずは、平成25年3月に策定した議会改革推進プランを実現することが最優先とし、検討は見送ることに決定しました。

以上、説明した11項目は、実施済み又は結論が出たものであります。

【シート14】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(2) 中期（2年以内に目標を達成）

② 報酬の検討

進捗状況	・議員報酬は、議会だけで議論するものではなく、市長が「千歳市特別職報酬等審議会」に諮問することとしており、今回は、議員みずから検討することは、見送っています。
------	---------------------------------------------------------------------------------

【シート15】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(2) 中期（2年以内に目標を達成）

③ 陳情の取り扱い

進捗状況	・これまで、千歳市議会に提出された陳情の中には、1年を超える長期にわたり、審査する事例も多く見受けられました。そこで、平成27年に、原則1年以内に結論を出すこととし、1年を超える場合は、審査経過を中間報告いたします。
今後の取り組み	今後も、陳情者に配慮した審査を心掛けていきます。

【シート16】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(3) 長期（2年を超える期間で目標を達成）

① 議会モニター制度の検討

進捗状況	・議会モニター制度は、制度の必要性や人選など、多くの課題があります。千歳市議会の現状は、市民の皆様が、本会議や常任委員会を継続して傍聴していることから、検討は見送っています。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------

【シート17】

4 議会改革推進プランの進捗状況

(3) 長期（2年を超える期間で目標を達成）

② 議会基本条例の検討

進捗状況	・千歳市議会は、積極的に議会改革に取り組んでおり、平成25年3月にした「議会改革推進プラン」を最優先することを最優先とし、議会基本条例の検討は見送っています。
------	---------------------------------------------------------------------------------

次に、昨年の6月以降、議会運営委員会において、協議を重ねている7項目について、現在までの経過を御報告いたします。

1点目は、市民の声を聴く会の開催です。

平成24年に、第1回市民の声を聴く会を開催し、本日も含めまして4回の開催をしており、内容は、議員定数のあり方や政務活動費の見直しなど、議会改革をテーマとしております。また、第3回までは1会場での開催でしたが、市民の皆様が、より参加しやすくなるよう、今回は2会場での開催とし、また、皆様の声をお聴きすることに重点を置いたプログラムとしています。

今後、より参加しやすい「会」のあり方を検討していく予定です。

2点目は、質問・質疑方法の見直しです。

本会議における議論の活性化、市民に、よりわかりやすい議会とすることを目的に、代表質問や一般質問の一问一答方式の導入、再質問のあり方、反問権について協議中であり、今年8月までに結論を出すこととしております。

3点目は、議会知識の習得、政策研究の実施です。

議会における課題の解決や議会活動に必要な知識の習得を目的に、外部講師を招いた議員学習会を昨年までに3回実施をしております。

また、今年3月に、公共施設の更新や長寿命化などの先進的な取り組みを行なっている愛知県西尾市の職員を招いて、「西尾市の公共施設再配置の取り組み」をテーマに政策研究を実施いたしました。

今後、議員個々の研鑽はもとより、毎年1回、議会全体で、議会知識の習得や政策研究を進めていくことを目的に、議員学習会を開催してまいります。

4点目は、予算・決算特別委員会のあり方です。

これまで、2つの特別委員会では、付託議案に対する各会派の討論のあり方や、審査の対象が一般会計に偏り過ぎていないかなどの課題がありました。

討論については、全会派が賛成又は反対で一致する場合を除いて、今後も、反対討論に対しては、賛成討論も実施することとし、論点の明確化に努めてまいります。

【シート18】

4 議会改革推進プランの進捗状況

平成27年6月以降、協議中の7項目の取り組み

① 市民の声を聴く会の開催

進捗状況	・平成24年から、「議員定数」や「政務活動費」などをテーマに、本日も含めて4回開催 ・今日は、初めて2会場で開催し、より多くの市民の皆様の声をお聴きするプログラム内容で実施
今後の取り組み	今後も、市民の皆様が、より参加しやすい「会」のあり方を検討します。

【シート19】

4 議会改革推進プランの進捗状況

平成27年6月以降、協議中の7項目の取り組み

② 質問・質疑方法の見直し

進捗状況	・議会の活性化とともに、よりわかりやすい議会を目指し、「一般質問などにおける一问一答方式の導入」や「反問権」について協議
今後の取り組み	今年の8月をめぐりに、結論を出す予定です。

【シート20】

4 議会改革推進プランの進捗状況

平成27年6月以降、協議中の7項目の取り組み

③ 議会知識の習得・政策研究の実施

進捗状況	・「議会における課題解決」や「議会知識の習得」を目的に、外部講師を招いた議員学習会を、昨年までの3回実施 ・平成28年3月には、公共施設の再配置をテーマに、先進自治体の職員を招いて政策研究の学習会を実施
今後の取り組み	今後も、議員個々の研鑽はもとより、議会・議員のレベルアップを目指して、議員学習会を開催します。

【シート21】

4 議会改革推進プランの進捗状況

平成27年6月以降、協議中の7項目の取り組み

④ 予算・決算特別委員会のあり方

進捗状況	・これまで、「審査の方法」や「付託議案に対する各会派の討論のあり方」などの課題がありました。討論については、今後も、反対討論に対しては賛成討論も実施することとし、論点の明確化を図ります。
今後の取り組み	今後も、委員会構成や審査方法等の検討を行い、市民の皆様がわかりやすい「特別委員会のあり方」を検討してまいります。

また、審査方法についても、委員会構成や会計別・項目別の審査など、他都市の状況も含めて、今後も検討することといたします。

今後とも、市民の皆様にわかりやすい委員会とするため、特別委員会のあり方を検討してまいります。

5点目は、付託議案審査のあり方についてです。

千歳市議会では、本会議に提出された議案は、各委員会に付託をした後に審査を行うことを基本としております。しかしながら、現状は、本会議に議案が提出される前に、各委員会に内容が報告されるため、付託後の委員会では、各委員の質疑がないまま、採決が行なわれるケースも見受けられます。そこで、平成28年4月から、委員会における審査方法を、より適切な方法に改めました。

今後も、より市民の皆様にわかりやすい委員会運営に努めてまいります。

【シート22】

4 議会改革推進プランの進捗状況

平成27年6月以降、協議中の7項目の取り組み

⑤ 付託議案審査のあり方

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 条例改正などの議案は、本会議で各委員会に付託後に審査することを基本としていますが、現状は、付託前に議案の概要説明を受けているため、付託後の委員会では、質疑もなく、採決が行なわれるケースもあります。 平成28年4月から、より適切な審査方法に改めました。
今後の取り組み	今後も、市民の皆様によりわかりやすい委員会運営に努めます。

6点目は、政務活動費の検討です。

現在、千歳市議会では、1人当たり年間3万円の政務活動費を会派に対して交付しており、使用できる項目は、研究研修費、資料作成費、資料購入費の3項目とし、透明性確保の一つの方法として、領収証の写しも含めて、会派ごとの収支の報告を1円単位でホームページ上に公開しております。

平成24年8月に、地方自治法の一部が改正され、これまでは議員の調査研究に使用が限定されておりましたが、その他の活動として、議員が要請や陳情活動を行うために必要な経費も認められることになりました。

地方自治を取り巻く環境は、地方創生の取り組みが進む中、地方において積極的な創意工夫などによる発展が求められ、地方議員においても、さらに能力を高め、持続可能な地域の発展のために活動することが求められております。そのような中、千歳市議会の年間3万円の政務活動費では、道内の同規模の市町村と比較しても、交付金額が少なく、使える項目も限られていることから、十分な調査活動ができないと考えております。

【シート23】

4 議会改革推進プランの進捗状況

平成27年6月以降、協議中の7項目の取り組み

⑥ 政務活動費の検討

千歳市の政務活動費	<ul style="list-style-type: none"> 交付額 議員1人当たり年間3万円 使える項目 研究研修費、資料作成費、資料購入費 収支の報告 1円単位まで「ホームページ」で公表
検討の背景	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生の取り組みが進む中、地方議員も能力を高め、地域の発展のために活動することが求められている。 年間3万円では、道内同規模の市町村と比較しても金額が少なく、十分な調査活動ができない状況です。

そこで、交付金額の増額と調査旅費などを認めるかどうかをポイントに、全体の見直しを議論しているところであります。

これまでの議論において、各会派の意思統一が図られたのは、支給方法については、これまでどおりの会派支給とし、使える項目は、これまでの3項目に、新たに調査研究や国などに対する要請・陳情、研修会に参加するなどのために必要な旅費を加える予定です。

【シート24】

4 議会改革推進プランの進捗状況

平成27年6月以降、協議中の7項目の取り組み

⑥ 政務活動費の検討

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> これまでの協議の中で、見直すこととした主な事項 ア 支給方法は、会派支給（従前どおり） イ 使用できる項目に、新たに「調査・研究」や「国などに対する要請・陳情」等に必要経費、広報費、印刷費、会議費などを追加の予定 ウ 交付金額を、「年間20万円」に引き上げ
今後の取り組み	今後は、政務活動費の透明化に向けたルールづくりを行い、市民の期待に応えられる議会を目指します。

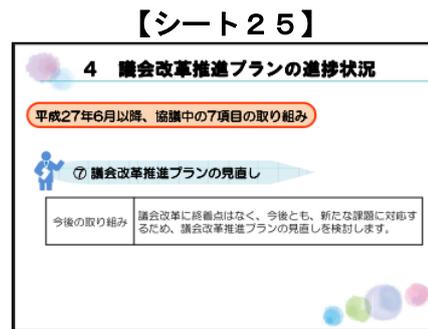
さらに、広報費や広聴費、会議費についても加える予定であります。
各項目の細かな取り決めは、今後も検討を重ね、9月頃をめどに決めていく予定です。
また、金額については、各会派の項目ごとに積算した金額をベースに協議し、年間20万円といたしました。

次年度以降も検証を重ね、必要に応じて見直しを行うことも検討いたします。

今後は、計画書や報告書の添付など、さらなる透明化に向けたルールづくりを行い、議員力の向上や議会機能の強化、市民の期待に応えられる議会を目指してまいります。

7点目は、議会改革推進プランの見直しです。

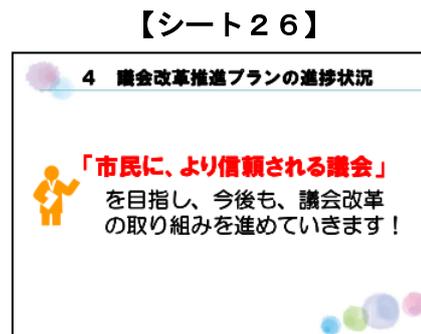
我々を取り巻く環境は、常に変化しており、今後とも、新たな課題に対応するため、議会改革推進プランの見直しを検討してまいります。



以上、議会改革推進プランの進捗状況について御説明をいたしました。今後とも、「市民に、より信頼される議会」を目指し、本日、皆様から頂く貴重な御意見も参考にさせていただき、引き続き、さらに信頼される議会を目指し、今後の議会活動に反映させる所存でございます。

以上で、議会改革推進プランの進捗状況について説明をいたしました。

最後まで、御清聴ありがとうございました。



5 皆様の声を聴く時間

○山崎議員（司会）

再開いたします。

それでは、これから、皆様の声をお聴きしたいというふうに考えております。

御意見のある方は、手を挙げていただきまして、マイクをお持ちいたしますので、お名前とお住まいの町内会を告げていただきまして、御発言をお願いいたします。なお、できるだけ多くの皆さんから御意見をいただきたいと思っておりますので、3分以内で御発言をお願いできればと考えております。

また、冒頭に申し上げましたけれども、個人をひぼう、中傷等に関する意見につきましては中止していただく場合もありますので、あらかじめ御了承願います。

それでは、早速、御質疑のある方は、手を挙げてお願いいたします。

○A氏（高台）

済みません。名前は〇〇と申します。住んでいるのは高台で、町内会には入っていないですけれども、高台町内会地区に住まわせていただいております。

私からは、3点ほど質問をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、1点目は、ニュースとかに取り上げられています長都駅前交番設置についての道に対する陳情をよく拝見いたしますが、くれぐれと言うばかりではなく、例えば、千歳市の長都駅前地区には、市の施設はあまりないと僕は思うので、千歳市の公共施設を建てた上で、そこにテナントみたいな感じで交番に入ってくれと。うちは箱を建てたから、交番を入れてほしいという意見のスタイルに変えていくのも、ありではないかなと思っております。

そして、現に、来年3月に中恵庭駐在所が廃止ということなので、その人員が恵み野交番に行くということは、ニュースに出ているのですけれども、現状、私は、青葉でコンビニエンスストアの店長をさせてもらっておりまして、住吉交番の人員は、今まで2名だったのですが、一昨年から1名になり、時たま、人員の関係で交番の人がいないという日もあるのが実情なのは確認済みなので、やっぱり、人が必要なところに人材を持っていくという意味で、長都地区の警戒、長都駅前のほうで店をやらせていただいているので、そちらのほうに人材が取られるということなので、やはり建ててほしいという陳情スタイルではなくて、箱を建てたから、そこに入ってほしいという戦略というか、大きなことではないのですけれども、そういうスタイルに変えていくのもよいのではないかなというのが、まず1点目です。

2点目が、公共料金のコンビニエンスストアでの支払い方法に関して、2年ぐらい前から、千歳市でも実施したのですが、その始まる前の千歳の広報に、なるべく納付は郵便局または金融機関というふうな記載があったのですが、それに関して、私は、コンビニエンスストアで始まるのに、なぜ、銀行とか、ゆうちょなんだろうということに、ちょっと疑問がありまして、納税課に確認したところ、手数料がコンビニエンスストアだと発生してしまうと。

要は、市が収納代行業者に支払わないといけないということで、金融機関と郵便局で支払ってくださいという旨を掲載していますというふうに、納税課のほうに言われたのですが、私自身、お客様のお話を聞いていると、公共料金が払えるようになって便利になったという声を非常に聞きます。便利になったというお話もよく聞きますし、結果として、延滞されている人よりも、納付率が向上すれば、結果として手数料を払っても、得たもののほうが多いと思うので、そういう書き方はいかがなものかなというふうに思いまして、二、三人の市議会議員の先生方には、ちょっと確認してくださいというお話はさせてもらいました。

それで、ちょっと、きょう発生した事案なのですが、市の軽自動車税の支払いでミスがあったそうで、ちょっとお客様が混乱されるようなことがあったので、そういうところも、きちんと市民の方にわかるように広報すべきではないかなというのが、たった今、あった話だったので、一応、それをお話しさせていただきたいなと思いました。

3点目が、ことしの春先に新聞に出ていた話で、コンビニエンスストアのコピー機で

住民票を取れるのですが、まだ、千歳市では始まっていないのです。恵庭と千歳市が、一応、来年か再来年から始める予定という感じで新聞に出ていたのですが、ほかの地方自治体では始めているところがたくさんあるので、もう少し早いスピードで、特に、公務員が多い千歳という地区なので、自衛隊さんの転勤とかが多いこの9月、10月とかに合わせて、もう少し早く、スピーディーに、コンビニエンスストアでの住民票交付とかができないものなのかなというのが私の質問です。

最後に、利用することによって、ペウレにあります市民サービスセンターは、今後はどうなるのかなということ、私からの質問は以上の3点です。

○山崎議員（司会）

はい、ありがとうございます。

この件に関して、総務文教常任委員長のほうからよろしいでしょうか。

○佐々木議員

ただ今のお話でございますけれども、基本的に、コンビニ収納とか、そういうのは行政がやっていることでございまして、もちろん、僕らも監督というか、チェックはするのですけれども、今、いただいたような御意見は、委員会でそういう意見を言う委員さんもいますし、そういうことは、やっております。

ただ、千歳市も取り組みにかかったのは、結構、時間がかかったものですから、なかなか、今、スピード感を持ってというお話でしたけれども、来年以降にやることになっておりますので、いただいた御意見を私どもも行政に伝えまして、できるところは改善していくようにお話ししたいと思います。

○山崎議員（司会）

今の補足をしますけれども、コンビニの公共料金納入、そして住民票等については、議会のほうからも、しっかり提案をさせていただいて、これが実現しているということは、十分に承知をしていただきたいと思いますと思っております。

あと、箱物を建てて啓発という件についても、今、我々議員の中からも、行政に対して声を出しているところがございます。そういった手法もあるのではないかとということで、提案をさせていただいているのが現状でございます。

ペウレの件は、どういうふうになるのでしょうか。特に、その件については、そのまま現状維持だというふうに私どもは認識しております。

○山崎議員（司会）

そのほか、ありますか。

○B氏（末広）

私は、末広西区に住んでいる〇〇と申します。

まず、難しいことは聞きませんが、きょうで第4回ですよね。今までの3回は、

1カ所の会場でやっていたのですか。

そのとき、どれくらいの人数が来ていましたか。

○山崎議員（司会）

大体60名くらいでした。

○B氏（末広）

多いから、こういうふうに2つに分けたのですか。

○山崎議員（司会）

いいえ、実は3回やったのですけれども、ほぼ、いらっしゃる方が限定されたのですね。それで、市民の皆さんからの要望が、もっと離れたところで、要するに場所を分けてやってくれれば、もう少し、ほかの方たちも行きやすいという御意見がございましたので、これはアンケート調査にもあったのですけれども、それじゃあ2カ所でやろうと。

当初は3カ所でやろうとしたのですけれども、ちょっと無理がありまして、今回は2カ所でやらせていただいたのが現実でございます。

○B氏（末広）

ということは、きょう、お集まりになった方々の人数について、あなた方は、これで納得した人数だと思っておられるのですか。

○山崎議員（司会）

いいえ、これは、今、深く反省しているところでございますけれども、これから、この少なかったことについて分析していかなければいけないのですが、一番は、市民の皆様に対する周知が少し甘かったのかなという気がしないでもないのです。

これについては、次回、もう少し皆さんに来ていただくために、分析、検討をして、次回に反映していきたいというふうに思っております。

○B氏（末広）

最後に聞きますけれども、政務活動費の3万円を20万円と。これは、恐らく一般の市民の人は、皆さん反発していると思うのですよ。

なぜかという、今まで、3万円の政務活動費というのを、実際に、これとこれの事業に使いました、それで、これだけ足りなかったのですとか、具体的に、市議会だよりは書いていなかったでしょう。ということは、何に使っているのだと。

ひょっとしたら、飲み代にでも使っているのではないかと。本当に、千歳の町がよくなるのだったら、20万円でも30万円でも使えばよいし、役に立たないのだったら、一銭もいらぬのですよ。なぜかといえば、今まで何回も、市議会議員の人に苦情や陳情とかをしているのですが、ほとんど取り上げてもらっていないのですよ。

ということは、市議会議員の選挙の時に、皆さんの声を聴くと、足となり手となりと、

代弁者みたいなことを言っている。代弁者というのは、我々の代わりに言う立場の人間が、代弁者というのですよ。その代弁がなっていないのですよ、まるっきり。

だから、市議会議員の選挙も、定数の人数にしかならないし、きょうみたいに人が集まらないというのは、恐らく一般の千歳市民の評価だと思うのです、この少ない人数というのは。そういうわけです。

○山崎議員（司会）

ただ今、〇〇さんからいただきましたことですが、皆様からいただいた要望あるいは要請、御意見等については、誰も取り上げてくれないというのは、どのことをおっしゃっているのか、誰のことをおっしゃっているのか、あれですけれども、私は、24名の議員は、全員が真摯に受けとめて、行政のほうに働きかけていると思っております。少なくとも、私は、そういうつもりで仕事をしております。

それで、議会で取り上げるというものと、我々が担当に直接行って調整するものがある、これはどうしても見えにくいかもしれませんが、間違いなく、議員に要望されたことについては、我々は真摯に受けとめて、しっかりとやっているというふうに、私は信じております。ちょっと、そこら辺の誤解があったのか、そういう議員がいたのかもしれないけれども、今の24名は、しっかりと仕事をしているものと信じております。

それで、政務活動費の3万円の件は、しっかりやるのであれば20万円でも30万円でもいいよというふうに、〇〇様の御意見がございましたけれども、あくまでも、今回、我々が政務活動費を上げようというのは、基本は、我々が市民のために活動するため、最低限の活動費が必要であろうというところで、そこが基本になっております。あくまでも、市民のために働こうということで、この活動費については上げさせていただかないと、このままでは、どうしても活動に支障を来たしている。

というのは、実は、現状、東京だとか大阪、札幌などの勉強会というものは、大体1万5千円ぐらいの会費になっております。そして、自分の市でやっていることで、ここはちょっとおかしいなということで、どこかによいところがないかなというときに、他市町村のよい例がたくさんあるんですね、全国には。そこに行って、勉強をして帰ってきて、あくまでも持って帰ってきて、自分なりに、市のためにどうやったらよいのかということの研究するためには、政務活動費というのは、どうしても我々は欲しいと考えております。これは、議員全員が考えておまして、今回、検討をして、政務活動費は上げよう。

それで、現実には、平成17年に財政健全化ということをして市長がうたわれて、「みんな、少し我慢をしてくれよう」ということになりました。そのときに、当初、15万円の個人調査費と、常任委員会の視察が15万円というお金がございました。それで、凍結ということで、個人調査費はゼロということになりまして、そして、常任委員会の視察経費を3万円削ろうと。そして、その3万円を政務活動費に、当時は政務調査費と言っておりましたけれども、政務調査費を3万円にしよう。しかし、使えるのは資料購入、先ほども説明がございましたけれども、その程度の運用しかございませんでした。ですので、このままでは政治活動としては不十分ということで、我々は協議をしてきました。

もちろん、市民の方の中にも、たくさん御批判をされる方もおられました。いやいや、お前たちが一生懸命に仕事をするのなら、それは絶対に必要なことだから、上げたほうがいいよと言う方もおられます。ただ、そこら辺のところを、本当に、みんなで4カ月ぐらい議論し合って、やっぱり当初は、反対、賛成のいろいろな意見が出ました。これから、いろいろと協議していくのですが、透明性や使い方、そして、議員力がより上がるためには、どういうふうな使い方をしていったらよいのかというのを、これから検討していくのですけれども、そういったところで、この20万円という結論が出ました。

これについては、これから、どのように市民の皆様理解していただくか、今、〇〇様がおっしゃったようなことを理解していただくかというのは、やっぱり、私たちが政務活動費を使った分だけ、しっかり議員力を上げて、市民のために働いていくということしかないと思うんですよね。

これは高い、安いという言われ方は、ちょっといろいろと賛否両論がございますので、ただ、政務活動費が必要だということだけは、御理解をいただきたいと思います。長々と済みません。よろしいでしょうか。

その他、何かございますでしょうか。

〇〇氏（稲穂）

稲穂に住んでおります〇〇と申します。政務活動費を20万円にするのは、反対ではないのです。ただ、これには旅費も入っているのですよね。

これは、私も経験があるのですけれども、議員の皆さんが視察に行きますと、質問の仕方が全くわからないのに、視察に行っている議員さんが結構いるということですね。ですから、調査費とか活動費を20万円に上げて、行くときにちゃんと勉強会をして、行政の係長とか課長から、ある程度の知識を得て、そして、他市に行って視察をするのであれば、非常によいと思うのですけれども、私の経験からいくと、まずは質問の仕方がわかっていないような感じが往々にしてあります。

これは、ここにいる議員さんの中では、知っている方はいないので、古川さんぐらいだと思うのですが、やはり、市の職員で細かく中までわかっているのは係長だと思うので、そこら辺の勉強を係長にやってもらって、議員さんは係長たちをいじめるわけではないと思うので、そういう知識を得て、行っていただきたいというのが、まず一つ。ですから、20万円に上げるとか、そういうのは反対しないのですが、効果的に使っていただければよいなと思っております。

それから、次に、先ほども、コンビニだとか、いろいろなところに公共料金なんかの窓口を置くという行政の考え方だと思うのですけれども、千歳市には、コミセンが他市に比べて非常に配置されているのですよ。ところが、コミセンを利用して、公共料金だとか、それから、市の代わりに住民票とかを出したりするというのは、やっていないのですね。

札幌市は、町の外に行きますと、区役所ではなくて会館に職員を配置してやっていると思うので、千歳市のコミセンというのは、すばらしいところだと思うので、そこら辺を議会のほうも、少し勉強していただければというふうに思っております。

○山崎議員（司会）

今、2点の御質問、御提案をいただきましたので、まず1点目の政務活動費のことに
ついてですけれども、今、おっしゃられたとおり、確かに、我々もしっかりした勉強を
して視察に行くということは、これは決して行政と相反しているものではございません
ので、しっかりした知識を得て行くような、そういった形もしっかりとって行きたいな
と思いますし、政務活動費の使途の運用については、これから協議をしてみますけ
れども、今、会派支給というのが決まりまして、個人支給はいたしません。

それで、今、各会派で大体決めていることが事後支給、先に行って、かかった経費分
の領収証を添えて出して、配分していただくという案が多く出ております。これは、
まだ決まった話ではなく、そういう意見が出ているということですので、そこも含
めまして、今後、しっかり検討してみたいし、先ほどから、〇〇さんがおっしゃい
ましたように、市民のためになることをやりに行くのでありまして、そこら辺のところ
は、しっかり有効に使わせていただくというふうに、これからも検討してみますの
でよろしくお願いします。

コミセンを利用した住民票の交付等については、厚生環境常任委員長がよろしいでし
ょうか。

○五十嵐議員

コミセンについて御説明します。

おととしに、大和地区のコミセンの陳情を議会として採択させていただきました。今、
12館あるのが13館になるのだと思いますけれども、そのときに、ただ単純に、陳情
に対して賛成という意思を表示しただけではなく、昭和40年代に千歳市のコミュニテ
ィセンター条例というのがつくられていまして、それから、一度も見直しをされていな
いのですね。それでは、せっかく、市内にこれだけ数多くのコミセンがあるのに、有効
利用されないんじゃないかという議論も、常任委員会の中では盛んに交わされまして、
今後は、コミセンの機能強化、コミセンの役割の見直しも含めて検討していただきたい
という意見を踏まえた上で、陳情の採択ということをしております。

それと、コミセンでは、今のところ、住民票等の交付の予定は、常任委員会でも審議
されておられませんし、以前は文化センターで交付していたのですが、千歳駅にできた時
点で、文化センターはやめているはずです。そのほかには、向陽台の支所と東千歳の支
所では交付しているはずです。

今後、マイナンバーの普及に伴い、コンビニで住民票や印鑑証明の交付が進んでくる
というふうに、常任委員会では議論が進んでおりますので、今のところは、コミセンに
交付の機械を設置して、交付していくというような議論にはなっておりません。

○山崎議員（司会）

よろしいでしょうか。

ただ、今、御提案をいただいたことについては、コミセンの件も決して悪いことでは
なく、よいことだなと私は考えておりますので、今後、それぞれの議員が検討していく

ものと思います。

そのほか、ございますでしょうか。

○B氏（末広）

今のコミセンのことに関連した話なのですが、私、25年くらい前に、府中のほうに仕事で行っていたのですよ。そのときに、近くに市のコミュニティセンターというのか、そういうようなもので、いろいろな納付するものとか、銀行のATMもあったし、図書館もあったし、それから、お風呂もあったのですよ。そういうのが、いっぱいあるのですよ。要するに、多機能なものを、確実にきちんと分けてつくっているのですよ。

千歳みたく、あっちこっちに、こちょこちょと少ししか役に立たないもので、ここだって、1時間に1,000円も使用料がするような高い建物をつくって。私、市の関係者にかなり食ってかかったのですよ。税金でつくって、1時間で1,000円なんて、普通のカラオケだって、1時間で50円で借りられますよ、昼間は。誰も、1,000円で借りないでしょう。スポーツセンターとか、武道館だって、200円、300円で貸してくれますよ。利益を得ないとできないような建物だったら、こんな大きな建物を建てる必要はないのですよ。

だからね、銭湯も減っているし、コミュニティーの「コミュ」というのは、人が集まるという意味なんですよ。今度、ペウレも違う名前に変えますよね、ペウレというのは、人という意味なんですよ、あれはアイヌ語で。そんな、よい名前を変えちゃって。

ともかく、こういうコミセンを人が集まる場所にしないとダメなんですよ。そのために、お風呂をつけたり、図書館をつけたり、いろんなことをやっているのですよ。ただ、会場を貸すだけでも、こういうコミュニティセンターだったら、何も意味がないということなんですよ。

○五十嵐議員

コミュニティセンターの利用料金については、それに絞って、高すぎるとか、安すぎるとか、そういう議論になったことは、今までありません。ただし、体育施設、大まかに言うと、スポーツセンターや武道館ということですが、そういうところも含めて、もう少し安くないのかというのは、議会全体として、いつも議論をしているところです。それで、今年度から、体育施設に関しては、市外の合宿で使われる方ですとか、そういった方には減免措置がとられるようになって、随時見直しが行われているのですが、コミュニティセンターに関しては、現状のところ、常任委員会の中では、ちょっと料金が高すぎるのではないかというような議論が発展していく感じにはなっていないです。

ただ、お聴きしたとおり、恐らく1,000円というのは、会議室が2コマだと思えますよね。1コマが500円だと思います。僕の知識では、おおむね150円から500円、あるいは700円まで設定されているはずですし、体育館のようなところは1時間当たり1,000円ということになっていますから、ここは2コマ分で1,000円ということになると思いますが、1人で使うということは、コミュニティセンタ

一としては考えづらく、複数名で使われるので、その場合、ほかの民間施設と比べて料金的にどうなんだというのは、今後の常任委員会の議論に、大いに参考にさせていただきたいと思います。

○山崎議員（司会）

その他、ございますでしょうか。

○A氏（高台）

今のコミュニティセンターに関して、先月、うちの従業員の研修でコミュニティセンターを使わせてもらったのですけれども、その際に、ホームページに料金が載っていないので、できれば料金を掲載していただければ、大変にありがたいのです。

高いとか、いろいろ批判があるのですが、うちの本部は札幌ですけれども、本部が、いつも恵庭の会館を借りているそうなのですが、本部の担当社員の話によると、今度は千歳でやればと。要は、同じ時間を借りたのですが、千歳がはるかに安いというのです。恵庭市に比べて、千歳市のほうが本当に安い。僕も料金はわからないので、当日、最後のときでないとわかりませんと言われたので、ある程度、1万円ぐらいするのかなと思って、一応、1万円を経費としてお店から預かって行ったところ、現に1,800円で済んだのです。従業員9人ほどを集めて、研修をやらせてもらったのですが、それこそ、これの半分ぐらいでやらせてもらったのです。当然、お店なので第三者ということで、料金は一番高いクラスなのですが、恵庭市より安い。

なので、もう少し、地域の方を集めてやるサークル活動用にも料金がわかるように、ホームページに料金を掲載して、体育施設は載っていたのですが、残念なことにコミュニティセンターだけは料金がわからず、電話をかけた空いていますよということで、幾らくらいになりますかと聴いたら、算出してみないとわからないけど、おおよそこれくらいですねと言われました。それで、僕も、1時間でそれなのか、はたまた、トータル3時間、4時間でそれなのかということがわからなかったのです。それで、1,000何ぼと言われたので、1時間で1,800円ぐらいかなと思ったので、1万円くらい持って行ったのですが、結果として4時間借りて1,800円程度で済んだので、できれば料金掲載に関しては、すぐにできることだと思うので、やっていただければなど。

ちょっと、今のお話を聞いていて、千歳市には非常にたくさんあるので、本当によい施設ですし、今は土足厳禁ではなくなったので、研修にも一番よいと思うので、もう少し、その料金形態をわかりやすくしてくれれば、うちの本部も、あす、恵庭で、またあるのです。毎月やっているのですが、うちの店から、千歳でやってくれということを本部に言いやすいので、できれば、そういう料金形態をはっきりしてもらえるようにしていただければ、もう少し千歳市の活性化になると思いますので、よろしくお願いします。

○五十嵐議員

今、スポーツセンターと比較されてお話しされたので、そのまま比較して御説明します。

これは、皆様にはちょっとわかりづらいのですが、スポーツセンターもコミュニティセンターも、直接、千歳市が管理運営しておりません。ですから、スポーツセンターの場合は、一度、千歳体育協会のページに行って、それからスポーツセンターのページにもう一回行って、そこに料金体系が載っているという形なのです。

それで、コミュニティセンターに関しては、ネット上に料金が出ているのは、コミュニティセンター条例というものを引っ張ると、その一番下に付表で料金表がついていますが、管理運営をしている千歳市町内会連合会では、コミュニティセンターの料金体系だとか、先着順の申し込みにもなっているのですが、そのシステムとかをネット上につくろうとして、今年の春から取り組んでおりますが、まだ、それが運用には至っていない。もうちょっと時間がかかるようだ聞いております。ですから、もう少し、そこら辺のところはお待ちいただきたい。

それと、現状では先着順で使えますし、例えば、サークルによっては、毎週火曜日の夕方6時から9時までは、ずっと1年間押さえないというようなサークルが結構多いのですが、基本的には、そういう押さえ方ではなくて、その都度というか、月単位だっただと思いますけれども、何か月先という形でしか押さえさせないと。逆に、単発で入った時は、そうやってずっと押さえているところには、ちょっとお願いをして、一回休んでもらえませんかという形で、各窓口で調整をされているというふうに聞いていますので、今後とも、コミュニティセンターの利用をよろしくお願ひしたいと思います。

○山崎議員（司会）

その他、何かございますでしょうか。

○D氏（弥生）

弥生町内に住んでいる〇〇と申します。

先ほど、議員定数の話等々がありました。私、前回の選挙がなかった後に、少し考えました。考えた理由が、選挙がなかったから、議員の人を減らせばよいという考え方に、ちょっと疑問を感じまして、今やっている議員の方々のお仕事を100としたときに、当然、数を減らせば、1人がやらなくてはいけない量がふえるというのは、当たり前のお話ですね。千歳市は、過去、市ができてから、ずっと人口がふえ続けている町で、それなのに議員の数がどんどん減っているというものに、まずは単純な疑問を持ったところがあります。

そもそもが、選挙がないのはどういうことなのだとすることを議員の方々に言っても、議員の方々はすでに出ている方なので、選挙がなかったのは、出馬をしなかった残りの市民の問題なのかなというところが、私個人の考え方です。

なぜかという、今出ている方々は、体を2つに割ることはできませんし、もう、既に出ていると。それで、選挙にしようと思ったら、もう一人でも二人でも、10万人いる市民の中の誰かが出ていれば、選挙になっていたというだけの話なので、選挙がなかったから議員を減らしたほうがよいという考え方で、議員定数を減らしたほうがよいという考え方は、私としては、ちょっと議論の論点が違うのではないのかなと。千歳市は、

人口もふえていて、インフラ整備も、他市町村から見ても明らかによい町だというふう
に思っていますので、市議の方々の仕事量というのは、もしかしたら、他市から見たら
多いのかもしれない。

ちょっと、中身に関しては、私はわかりませんが、そういうことを含めた中で、選挙
がなかったから減らしたほうがよいですか、例えば、単純に給料が高いとか安いとか、
選挙がなかったから減らしたほうがよいとか、そういう単純な議論ではないのではない
のかなというのが、私の考え方であったものですから、その点に関しては、逆に議員の
方々は、どうして選挙がなかったのかということを考えるよりは、市議というのはこう
いう有意義な仕事なんだよということを、もっと市民の方々にアピールできるようなこ
とがあったほうが、じゃあ、市議になってみようかなと思う人もふえてくるのかなとい
う考え方のほうが、どちらかといえば希望もありますし、生産的なのかなと。

これは、先ずばみで減らしていったら、例えば、今回減らすとしても、また次の選挙
がなかったら、減らしましょうと言って、最終的には何人になったらよいのですかと
いう、ただ、これだけの議論にしかならないと思いますので、それも含めて、ちょっと市
議の先生方も考えていただけたらなと思います。

以上です。

○山崎議員（司会）

ただ今の議員定数の件についてはですね、先ほど報告をいたしましたけれども、一応、
削減と現状維持の両論併記ということで、今はストップしています。これについては、
また今後、検討が出てくるのかなと。議会運営委員会では、もう、これは結論が出た
ということにはなっているのですが、今、〇〇さんが言われたように、市民の方の中にも、
現状維持がよいのではないのかという方と、やっぱり減らしたほうがよいというふう
に言う方もいらっしゃいます。

それで、我々議員の中でも、ここで一番多く議論されたのが、何で立候補者がいなか
ったのだろうか、私たちができることをちょっと考えてみようということで、例
えば、こういう市民の声を聴く会にも行って、我々議員の活動はどういうことをしてい
るとか、傍聴にたくさん来てくださいますとか、我々は、皆様の御意見について、行政対
してこういうことをやっているんだよとか、議員がどんなことをしているのかという見
える化をしっかりとやっていこうと。そういうことが、やっぱり議員活動が見えると。今
後、議員になろうという方が出てくるのかなという、我々の中での議論というか、検討
をいたしました。

また、今おっしゃったように、まず、25名をよしとするかどうかというのは、10
万人前後の都市では、ほぼ平均に近いところです、この25名というのは、他市で、無
投票だったから議員を減らしたというところは、ますます出づらくなって、また無投票
という、〇〇さんが指摘なさったような市町村もございます。

それで、来年の5月に選挙がございますけれども、どれくらいの方が立候補してくだ
さるのかなと。もちろん、我々の中でも、立候補される人、おりられる人もいるかもし
れませんが、どれだけいるのかなというのは、大変に思っています。

これから、もう、あと1年間ですけれども、私たちが、あんた出てくださいと言って歩くのも、そこはどうかのかなというのがあるのですが、なるべく立候補しやすい環境づくりをしてあげるといふのと、我々が活動していることをしっかり見てもらって、先ほど言われたように、ああ、議員ってやりがいのある仕事だなというのを、なるべく皆様にお見せできればというふうなことで、活動しているところでございます。

今いただいたことも、しっかりと参考にしながら、今後も活動していきたいと思っております。

○D氏（弥生）

今、お話しいただいたのですが、議員定数を、仮に減らす、減らさないという、その議論自体を議員の方々だけだとすると、これは極端な話ですが、すごく疑問に思うのです。現状、議員の方々、減らすか減らさないかと言ったら、それは減らさないほうがよいに決まっているというのは間違いありませんよね、間違いなく当選されているわけですから。減らせば、当然、1%でも2%でも自分が落ちる確率がふえるのは、間違いありませんよね、議席が減れば。だから、議員定数をふやす、減らすという話自体を、議員の方々だけだとすることが、そもそも、少し問題があるのかなというところに疑問を感じております。

なぜかという、結局は、現職の議員の方々、4年に一度、必ず退職されて、当然に選挙がありますので、それぞれの方によって意見が違うのも当たり前だと思いますし、まとめるというのは、なかなか難しい部分であると思うのですよね。そうであれば、逆に、その決定機関の前に、例えば市民の有識者の方々、と現職の議員の方々、とで、何か会をつくって、まず、そこで意見をもんでから決定機関に持って行くとかというような会があれば、当然、そこに市民の方や有識者の方がまじっているのであれば、市民の声も反映されやすくなりますし、もし、そういう活動に参加されている方の中で、議員というのは、こういう活動がすばらしいとかという考えがあれば、もしかすると、そのなかから出馬する方も出てくるかもしれませんし、そういったような形で、市民の方々と少し意見をもむような会があったほうが、スムーズに話が進むのかなというのが個人的な意見です。

これは、政務調査費とかに関しても、議員の先生方が使う政務調査費を、議員の先生方だけで議論をするのもどうかと思いますし、議員定数の問題を、現職の議員の方々だけで話し決めていくというのにも、少し疑問があるかなと。それは、よい意味での疑問もありますし、当然、悪い意味での疑問もありますので、そういった決定機関の一つ前の段階で、何か、そういう話をもむというような会があったらよいのかなというところでは。

以上です。

○山崎議員（司会）

ありがとうございます。

今の定数、政務活動費について、市民アンケートということで、前回はとらせていた

できました。もちろん、それを参考に我々も議論しております。今、おっしゃったように、確かに有識者の入った議論というのも、今後、我々の検討課題にさせていただきたいと思います。

その他、何かございますでしょうか。

○E氏（新富）

皆さん、こんばんは。新富からやってまいりました〇〇でございます。私も着座でお話しさせていただきます。よろしく願いいたします。

市議の皆さん、きょうはお疲れさまでした。お忙しいところを参加いただきまして、こういった会を開いていただき、私も参加させていただいて本当に勉強になります。市民として、私たちの意見を議員の皆さんに聴いていただける、そして、そのことが市政のほうへ反映しているという、そのことに幸せを感じています。

その中で、私も、端的に三つないし四つ、お話ししたいと思うのですけれども。

先ほどから、お話に出ております参加率の点で、今回は2会場ということですがけれども、例えば向こうの会場に40人、50人の人がいて、こちらは議員の皆さんと一緒に人数くらいだったら、「あれ、議員の皆さんの人気かな」みたいなことになってしまいますけれども、その点は置いておいて、ぜひ、こういったすてきなすばらしい場所なので、より一層のたくさんの方たちと、この場に参加できたらよいなと思うことを、まず一発目、ひとつ感じさせていただきました。その点で、参加率を上げるため、何か働きかけを一点考えていただきたいなど。ちなみに、私は、今回はフェイスブックのほうで参加したいなと思いました。

あと、ずっと山崎議員ばかりがしゃべっていらっしゃいますので、せっかくですの一点。

私は子供が2人いまして、小学校2年生と幼稚園なのですけれども、この子たちの将来のことを深く考えない日はないのですが、これから後期高齢化社会と少子化が一度にやってきますね。その点について、議員の皆様から、何かお考えでもあれば、少ない言葉でもよいですけれど、この場で聞かせていただきたいというのが2点目。

3点目、もう少し、町内会と密接につながるとよいなと思っています。例えば、青年部の充実とか、若い人たちをしっかりと育てながら、担い手をつくっていくということも、行政のほうに役目があるのかなと、ちょっと一点思います。

4点目、最後ですね。北陽小学校の人数がすごいなと思って、あの辺をちょっと分散できないのかなということが、何か素直に一点思いました。多すぎるのかなということですね。うまく、桜木小学校とか、ほかの小学校に分けて、よりよい教育環境というのできるのではないかなということも、一点思いました。

その4点でございます。以上です。

○山崎議員（司会）

まず、参加率の件。先ほど、〇〇さんもおっしゃいましたけれども、私たちは深く受けとめております。これについては、本当に、しっかり分析と検討をして、より有意義

なものにしていかなければならないと思っておりますので、次回までの課題とさせていただきます。向うの会場のほうも 16名の参加だそうです。本当、大変に寂しい限りでございます。失礼しました、30名だそうです。

続いて、高齢者、少子化対策等について、それぞれの議員のほうからということでございますが、これはよろしいでしょうか。私のほうから、この件だけ。それぞれ、これは、議会の中でも真剣に議論されていることです。今、特に少子化対策というところでですね、もちろん高齢者対策もやって、行政も一生懸命に力を入れてやっているところで、我々も、ここはもっともっとよいものになるように、しっかりとやっていきたいと思っております。

続いて、最近、町内会離れというのが非常に問題となっております。実は、ここにも町内会長が何人かおまして、一番に苦勞しているところです、町内会離れや無関心というのがですね。これについては、今、行政も町内会の参加促進ということで活動しております。若い方の町内会離れというのが大変に多くて、苦勞しているところなんですけれども、これも自分の地域や周りの方といろいろ協議をしながら、何か、よい方向への打開策があればというふうに思って、これは、それぞれの議員がしっかりと努力してまいりたいと思っておりますので、御容赦のほう、よろしく願いいたします。

あと、北陽小学校の件は、総務文教常任委員長からお願いします。

○佐々木議員

北陽小学校の問題につきましては、私もそうなのですが、隣の今井さんや、かなりの議員の皆さんが、今までにも質問しています。内容は、今、御意見いただいたとおり、平成32年ごろをピークに、まだまだこれからふえる予定で、全道一の学校規模になるのではないかとということで、今、意見をいただいたように、僕らも大変に危惧をしておりますし、学芸会や運動会が2日にわたって行われるとか、ちょっと普通の環境ではないということで、かなり議会でも、特に、ことしの我が会派でも代表質問の中にも入れて、行政に、ただしたところでございます。私たちも、スクールバスを使って、桜木とか末広とか、人数が少ない学校へ持って行ったらよいのではないかと、いろんな提案をしているのですけれども、行政は、頑として聴く耳を持たないものですから、私ども会派でも、もっと地域の意見を聴くとか、PTAの皆さんの御意見を聴くとか、もっと、いろいろな方法で対話を進めなければいけないと、今、考えているところでございます。

○E氏（新富）

いわゆるスクールバスは、危険とかリスクとか、そういうことなのではないでしょうか。

○佐々木議員

まず、学校区という問題がありまして、市内には、どここの町内会はどの学校に行くという、そういうことが条例で決まっております。でも、そういうものも、最近の特区とかもありますから、取っ払って、少ないところに運んだらよいのではないかと

提案を僕らもしております。スクールバスは危険とか、そういうことではなくて、まずは学校区なのです。校区という縛りがあるってできないということと、僕らも、これから、いろんなアンケートや調査をしようと思っているのですが、やっぱり北陽小学校に行っている保護者の方で、北陽小学校がよいという人が多いのではないかと御意見もあるので、どこまでが皆さんの御意見かわかりませんが、先ほども言いましたように、これから調査、研究をして、進めていきたいと考えております。

それとですね、まちづくりというのは、町をつくと若い夫婦が入ってきて、子供さんができるのですよ。今、例えば泉沢向陽台は、泉沢はすごいマンモス校になっているのですが、向陽台小学校はすごく小規模化していて、まちづくりの難しいところは、大体30年ぐらいで、学校というのも町と同じで、老朽化というか年代が上がっていきまから、これは難しいところで、例えば、今、みどり台に分離校を建ててしまうと、みどり台も端っこなものですから、その後はどうなるのだと。

やっぱり、学校を一つつくるのにも30億円から40億円もかかりますから、当然に維持費もかかりますし、行政としては、そういうことも検討材料になっているのかなと思います。

○山崎議員（司会）

よろしいでしょうか。

申し訳ございません。時間となりましたが、どうしても質問しておきたいということはありませんでしょうか。なければ、こちら辺で終わらせていただきたいと思います。

今、いただきましたそれぞれの御意見につきましては、これから、しっかり我々の議員活動に生かして行って、なるべく要望に沿った方向で活動もしてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

6 閉会あいさつ

○山崎議員（司会）

それでは、最後に、総務文教常任委員長であります佐々木議員から、皆様にお礼の御挨拶を申し上げ、終わりにしたいと思います。

○佐々木議員

本日は、平日の夜のお忙しい中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

先ほど来から、御指摘いただきますとおり、ちょっと寂しい人数になりましたことは、私どもも検討しなければいけないことと思っておりますが、中身の濃いお話を伺うことができたのではないかと考えております。

また、先ほど、〇〇様からお話しいただきましたが、市議会議員選挙の年になります。前回は無投票ということで、私たちも、いろんな御意見や御批判をいただきました。本日、お集まりの皆様や皆様のお仲間の中からも、ぜひ、立候補していただきまして、活

発な議会となりますよう、私たちも切に望むところでございます。

本日、いただきました貴重な御意見は、私どものこれからの議員活動に反映していきたいと思っております。また、ふだんも、議員個人や議会事務局に、いろんな疑問や御意見等をいただきましたら、私たちもそれを反映していきたいと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。

大変に暗くなりました。帰り道、交通事故などに十分にお気をつけいただきまして、お帰りいただくようお願い申し上げまして、本日のお礼の御挨拶にかえさせていただきます。

本日は、まことにありがとうございました。